

周りの人みんなの おかげです

谷村勇治さん (84歳)
東後畑



東大坊育ちの谷村さんは、父の妹さんの家に子どもができなかつたので、現在の谷村家に養子として入られ、それ以来、油谷町を一度も離れることなく現在に至っておられます。

農業一筋に働いてきた谷村さんに一番の思い出は、と問いかけると、

「若い頃からずっと仕事ばかりでした。農業でひとはたあがてやろうと、朝から晩まで働き通しでした。米ばかりではダメだと思い、牛・羊・鶏と色々なことを手がけてみま

したが、いつも失敗ばかりでした。」

年をとってからは、
「くぎは、引っ込んでいたほうがよい。」
と農業はすべて息子さんにまかせたそうです。

老人クラブに入るや、ボランティア活動に積極的に取り組む三隅町や長門市の老人ホームへ出かけては、部屋の掃除や、洗濯物をたたんであげたりと奉仕活動を続けてこられました。また、現在、老人クラブが取り組んでいますアルミ缶のリサイクル運動の提唱者でもあります。

現在では、近所で、ゲートボールやグラウンドゴルフを楽しんだり、毎月二回は、養寿苑のデイサービスを受けたりと、とても充実した毎日を送っておられます。そして、毎年十二月になると、油谷青年の家で、しめなわ作りの講師をしたり、後畑樂踊りの保存にも力を注いでおられます。

「私が今あるのは、周りの人みんなのおかげです。一日一日無事に過ごすことができるのがとてもありがたい。」
とやさしい顔で話して下さいました。これからも、いろいろな人にしめなわ作りを教えてくださいてください。

仏様のおかげです

末永テルさん (93歳)
養寿苑



末永さんは、ご主人が戦時中に受けた傷がもとで終戦後まもなく亡くなり、以後は女手ひとつで二人の子どもを育てられたそうです。当時を振り返って、
「とにかく、がむしゃらに働きました。ふつう女がしないような仕事も行いました。」
しかし、一生懸命働いて育てた二人の息子さんも先に亡くなられ、以後は、川尻で一人暮らし

をされていきました。近所の人の勧めで、昭和六十三年に開設した養寿苑に入所されました。入所するとすぐ副自治会長に選任され、(養寿苑では、苑を一つの自治会ととらえて、入所している人の中から、自治会長・副自治会長を選任しています。)しばらくしてからは、自治会長に推薦され、現在に至っております。

自治会長としての末永さんは、県外から視察に来られた方々へのあいさつ、食事のたびにみんなが使用するエプロンを食卓に配ったり、女性だけでつくっているグループで洗濯物をたたんだり、なんでもきちんこなして、みんなのまとめ役として、とても充実した毎日を送っております。特に、エプロン配りでは、人によって一枚ですむ人、二〜三枚必要な人と色々な人がおられるようですが、末永さんは、ちゃんと誰が何枚必要かわかっていて、これには、寮母長さんもととても感心しておられました。

末永さんに、いつまでも元氣な秘訣を教えてくださいました。
「私がいつまでも元氣なのは、仏様のおかげです。あなたも、毎日仏様をおがみなさい。」
九十二歳とは思えないくらい、しっかりと口調で話して下さいました。いつまでもお元氣で。